

平成 2 3 年度

事業概要

道路局

# 目 次

ページ

道路局事業について	1
主な完成予定施設	3
道路局予算総括表	4
<b>I 道路整備</b>	
1 高速道路の整備	5
2 幹線道路等の整備	7
3 地区幹線道路等の整備	9
<b>II 道路維持管理</b>	
4 道路の維持・管理	11
5 橋りょう等の維持・補修	13
<b>III 地域交通対策</b>	
6 地域交通対策	15
<b>IV 交通安全対策</b>	
7 交通安全対策	17
8 放置自転車対策	18
9 自動車駐車場事業	18
<b>V 河川整備</b>	
10 河川等の整備	19
<b>VI 河川維持管理</b>	
11 河川等の維持・管理	21
<b>VII その他</b>	
12 その他事業	23

# 平成23年度道路局事業について

道路分野では**道路整備、道路維持管理、地域交通対策、交通安全対策**の4つの柱を軸として、河川分野では**河川整備、河川維持管理**の2つの柱を軸として、限られた財源の中でより効果が発現されるよう選択と集中を図りました。

## I 道路整備

市民生活と経済活動を支えるとともに、環境負荷の軽減にも寄与する、効率的で効果的な道路ネットワーク等を実現するため、次の3つの道路整備を進めます。

### ○高速道路の整備

横浜環状道路は、関連街路を含め、南線・北線の整備を進めます。北西線は、都市計画決定後、事業化のために必要な調査・調整を行い、早期の事業化を目指します。また、横浜湘南道路の整備を進めます。

### ○幹線道路等の整備

環状3号線など、3環状10放射道路を中心に都市計画道路の整備を進めるとともに、国道1号（不動坂交差点）の改良など、国道及び主要地方道等の整備を進めます。

### ○地区幹線道路等の整備

「最寄り駅まで15分の交通体系」を実現する施策の一つとして、県道原宿六ツ浦の山手学院入口交差点の改良による渋滞解消や、駅前広場、駅周辺道路等公共交通機関の利便性向上につながる路線などの整備を進めます。

## II 道路維持管理

歩行者と車両の安全な交通を確保するため、道路を適切に維持管理します。

### ○道路の維持・管理

道路の計画的な修繕を行うとともに、点検をきめ細かく行い、舗装補修を迅速に行うなど、市民の皆様の要望に的確に対応します。

車道等の清掃やハマロード・サポーター事業、道路照明灯やエレベーター等の保守・管理、街路樹や植樹帯の維持管理を行います。

### ○橋りょう等の維持・補修

橋りょうを計画的かつ効率的に維持管理する「アセットマネジメント」の考え方にに基づき、橋りょうの定期点検や維持補修等を行うとともに、架替え等を行います。

地震に強い都市に向け、橋りょうの地震対策、トンネル補修を行います。

### Ⅲ 地域交通対策

誰もが安心して安全に利用できる交通体系の実現を推進します。

- 横浜市生活交通バス路線の維持支援
- 地域交通サポート事業の推進
- まちのバリアフリー化の推進 など

### Ⅳ 交通安全対策

歩行者の安全と円滑な道路交通の確保に取り組みます。

#### ○交通安全対策

歩道や道路照明灯等の交通安全施設を整備・補修するとともに、交差点改良や通学路等へのあんしんカラーベルトの整備を進めます。また、電線共同溝の整備や踏切改良も進めます。

さらに、交通安全運動や交通安全教育を行います。

#### ○放置自転車対策

駅周辺の歩行者の通行、安全確保のため、自転車等放置防止対策を進めるとともに、自転車駐車場の管理運営や整備を行います。

#### ○自動車駐車場事業

安全で円滑な道路交通の確保のため、路上駐車対策として、6箇所の市営地下駐車場の管理運営を行います。

### Ⅴ 河川整備

台風や集中豪雨から市民の生命や財産等を守るため、河川整備を進めます。

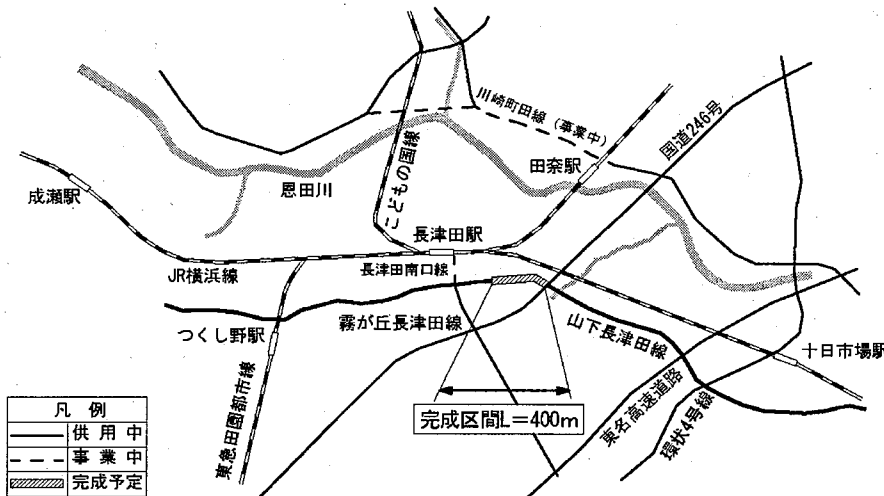
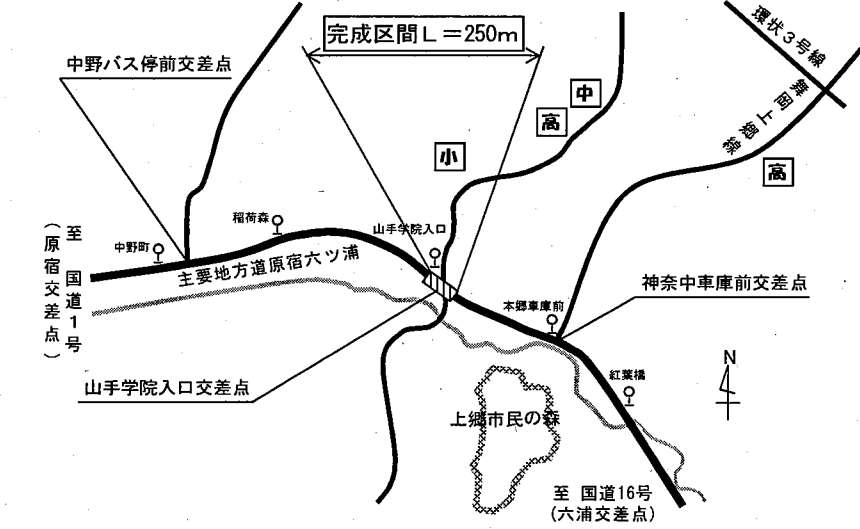
- 護岸改修や河川遊水地の整備など、河川の改修
- 学校の校庭を活用した流域貯留施設の整備
- 市民の憩いの場となるプロムナードなど、河川環境の整備 など

### Ⅵ 河川維持管理

安全で良好な水辺を保つため、河川及び水路を適切に維持管理します。

- 河川・治水施設等のしゅんせつなどの維持管理
- 水路改廃に伴う境界確定等の管理や、水辺愛護会による美化活動の推進
- 水防災情報の提供や、水防資機材の備蓄 など

# 平成23年度 主な完成予定施設

	施設名	説明						
1	山下長津田線 (長津田地区)	<p>緑区長津田六丁目の国道246号下長津田交差点から長津田駅南口入口交差点付近までの延長約400mの区間が完成し、長津田駅南口周辺の交通利便性と自転車・歩行者の安全性が向上します。</p>  <p>凡例</p> <table border="1" data-bbox="518 750 662 851"> <tr> <td>——</td> <td>供用中</td> </tr> <tr> <td>- - -</td> <td>事業中</td> </tr> <tr> <td>▨</td> <td>完成予定</td> </tr> </table>	——	供用中	- - -	事業中	▨	完成予定
——	供用中							
- - -	事業中							
▨	完成予定							
2	主要地方道原宿六ツ浦 (山手学院入口交差点)	<p>渋滞が生じていた山手学院入口交差点（栄区上郷町）の改良（変則なくいちがいの解消と右折レーンの設置）が完了し、国道1号原宿交差点と国道16号六浦交差点方向への円滑な車両通行が図られます。</p> 						
3	花見橋	<p>老朽橋架替事業として実施していた、大岡川に架かる花見橋（南区弘明寺町～大岡二丁目）の架替えが完了します。 (橋長19.9m、幅員7.0m)</p>						
4	やもと 谷本人道橋	<p>経年劣化対策として実施していた、鶴見川に架かる谷本人道橋（青葉区下谷本町～市ケ尾町）の架替えが完了します。 (橋長45.6m、幅員4.0m)</p>						
5	いずみさんや 和泉三家橋	<p>河川改修事業にあわせて実施していた、和泉川に架かる和泉三家橋（泉区和泉町）の架替えが完了します。(橋長15.8m、幅員10.5m)</p>						
6	中和田小学校など 2箇所の雨水貯留施設	<p>中和田小学校（泉区和泉町、和泉川流域）と平戸台小学校（戸塚区平戸町、平戸永谷川流域）の2箇所で、流域貯留施設（※）が完成します。 ※河川への雨水の流出を抑制する施設</p>						

# 平成23年度 道路局予算 総括表

<一般会計>

(単位：千円)

科 目	23年度予算	22年度予算	差引増△減	増△減率
歳 出	68,445,936	70,450,566	△ 2,004,630	△ 2.8%
11款 道路費	66,208,288	68,146,854	△ 1,938,566	△ 2.8%
1項 道路維持管理費	24,884,258	24,910,318	△ 26,060	△ 0.1%
2項 道路整備費	36,217,117	37,851,836	△ 1,634,719	△ 4.3%
3項 河川費	5,106,913	5,384,700	△ 277,787	△ 5.2%
16款 諸支出金	2,237,648	2,303,712	△ 66,064	△ 2.9%

財源内訳

1 国庫支出金	11,860,697	千円
2 県支出金	1,473,470	千円
3 使用料及び手数料	7,030,081	千円
4 諸収入等	1,230,008	千円
5 市債	19,789,000	千円
6 一般財源	27,062,680	千円
合 計	68,445,936	千円

<自動車駐車場事業費会計>

(単位：千円)

科 目	23年度予算	22年度予算	差引増△減	増△減率
歳 出	1,240,344	1,272,908	△ 32,564	△ 2.6%
1款 自動車駐車場事業費	1,240,344	1,272,908	△ 32,564	△ 2.6%
1項 運営費	386,763	418,604	△ 31,841	△ 7.6%
2項 公債費	852,581	853,304	△ 723	△ 0.1%
3項 予備費	1,000	1,000	—	—

財源内訳

1 国庫支出金	12,100	千円
2 使用料及び手数料	372,562	千円
3 諸収入等	3,101	千円
4 一般会計繰入金	852,581	千円
合 計	1,240,344	千円

# I 道路整備

1 高速道路の整備		
		千円
23年度		11,700,927
22年度		8,021,212
差引増△減		3,679,715
23年度 の 財源	国費	2,960,468
	県費	174,034
	使用料	0
	諸収入等	550
	市債	8,372,612
	一般財源	193,263

※ ( ) 内の数字は、平成22年度予算額です。

市民生活の利便性の向上、経済活動の活性化に向け、高速道路ネットワーク整備を積極的に進めるとともに、高速道路に関連する道路の整備等を進めます。

横浜環状道路の南線（横浜横須賀道路～国道1号）及び北線（第三京浜～横羽線）については、関連街路を含め、引き続き整備を進めます。また、横浜湘南道路の整備を引き続き進めます。

北西線（東名高速～第三京浜）については、都市計画決定後、事業化のために必要な調査・調整を行い、早期の事業化を目指します。

- |  |                             |
|--|-----------------------------|
| <b>1 横浜環状道路等の調査</b>  | 125,436 千円<br>(177,245)     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南線及び北線関連街路の予備設計</li> <li>・ 北西線の事業化基礎調査 等</li> </ul>     |                             |
| <b>2 首都高速道路の整備に対する出資金</b>  | 4,249,500 千円<br>(2,400,000) |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横浜環状北線の整備等</li> </ul>                                   |                             |
| <b>3 国直轄事業に対する負担金</b>  | 1,933,334 千円<br>(2,200,000) |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 横浜環状南線及び横浜湘南道路の整備</li> </ul>                            |                             |
| <b>4 横浜環状道路関連街路の整備</b>   | 5,382,669 千円<br>(3,209,000) |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上郷公田線など南線関連街路</li> <li>・ 岸谷生麦線や馬場出入口など北線関連街路</li> </ul> |                             |
| <b>5 道路予定地等の管理</b>   | 9,988 千円<br>(34,967)        |



# I 道路整備

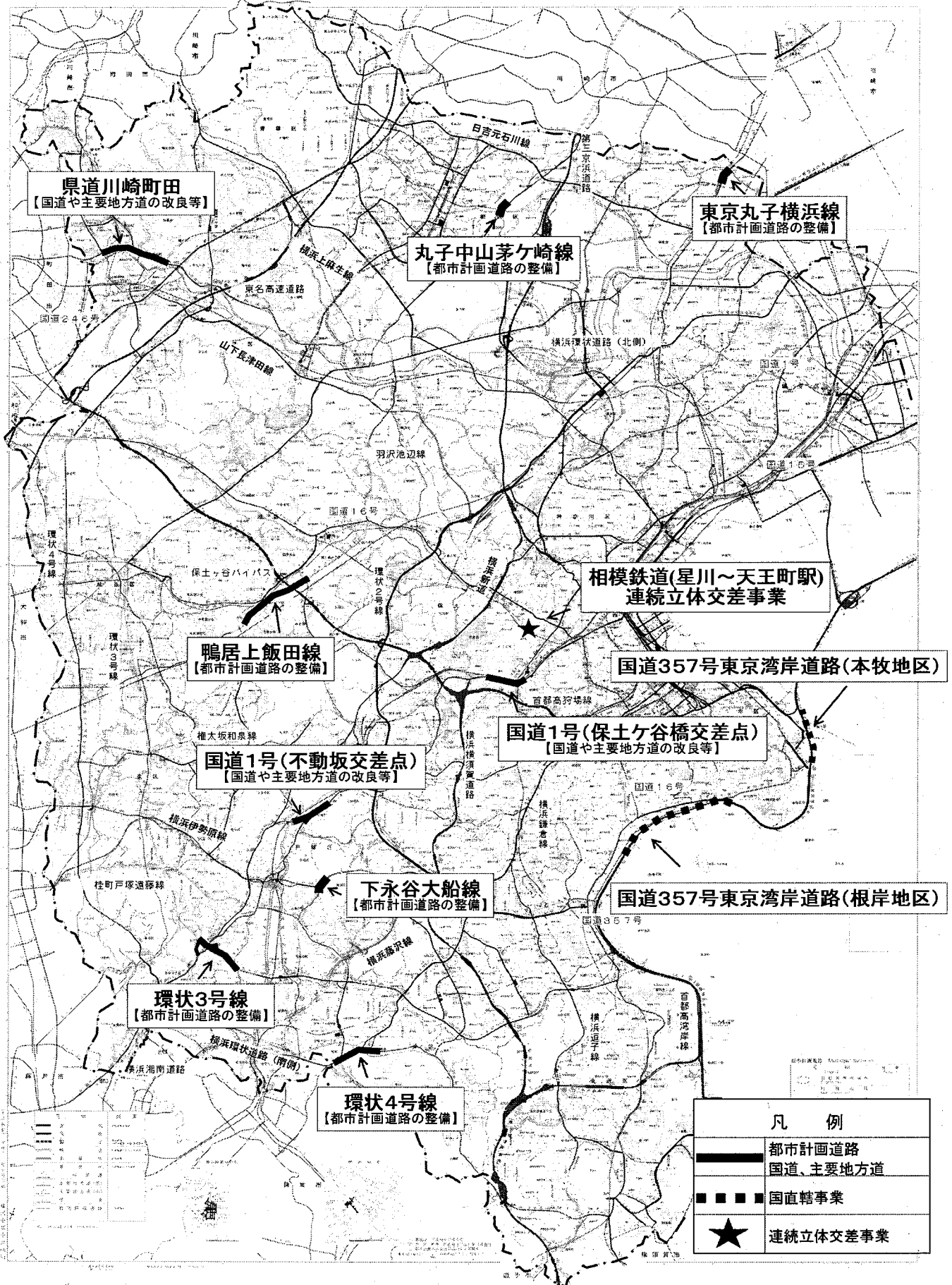
2	幹線道路等の整備	
23年度	千円	16,199,963
22年度		17,396,292
差引増△減		△ 1,196,329
23 年 度 の 財 源	国費	4,410,010
	県費	113,561
	使用料	0
	諸収入等	182,500
	市債	6,433,895
	一般財源	5,059,997

市域の一体性を高めながら都市機能の強化を図るため、本市の骨格を形成する3環状10放射道路など都市計画道路網を整備するとともに、本市の国道及び主要地方道等の整備を進めます。

また、都市計画道路網の見直しについて、市民の皆様のご意見を踏まえつつ、都市計画変更に向けた手続きを引き続き進めます。

- |  |                             |
|--|-----------------------------|
| <b>1 都市計画道路の整備</b>   | 5,816,239 千円<br>(7,689,685) |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・環状3号線（戸塚区戸塚町～汲沢町）</li> <li>・環状4号線（栄区公田町～中野町）</li> <li>・東京丸子横浜線（港北区日吉三丁目～四丁目）</li> <li>・下永谷大船線（戸塚区舞岡町～上倉田町）</li> <li>・鴨居上飯田線（旭区本宿町～さちが丘）</li> <li>・丸子中山茅ヶ崎線（都筑区東山田町～勝田町）</li> </ul> | ほか                          |
| <b>2 国道や主要地方道の改良等</b>  | 725,058 千円<br>(886,607)     |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道1号（不動坂交差点、戸塚区柏尾町～上矢部町）</li> <li>・国道1号（保土ヶ谷橋交差点、<br/>保土ヶ谷区岩井町～保土ヶ谷町二丁目）</li> <li>・県道川崎町田（青葉区田奈町～恩田町）</li> </ul>   | ほか                          |
| <b>3 国直轄事業に対する負担金</b>  | 2,918,666 千円<br>(1,800,000) |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・国道357号東京湾岸道路（根岸地区・本牧地区）</li> </ul>   | ほか                          |
| <b>4 連続立体交差事業の推進</b>   | 2,740,000 千円<br>(3,020,000) |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・相模鉄道（星川駅～天王町駅）連続立体交差事業</li> </ul>  |                             |
| <b>5 財団法人横浜市道路建設事業団への助成</b>  | 4,000,000 千円<br>(4,000,000) |

主な整備箇所(幹線道路等)



# I 道路整備

3	地区幹線道路等の整備	
		千円
	23年度	2,343,968
	22年度	4,539,172
	差引増△減	△ 2,195,204
23 年 度 の 財 源	国費	615,212
	使用料	0
	諸収入等	0
	市債	1,502,000
	一般財源	226,756

市民生活に密着した地域の道路を整備します。

## 1 駅まで15分道路整備事業 2,208,342 千円 (4,211,849)

「最寄り駅まで15分の交通体系」を実現する施策の1つとして、バス路線又は将来バス路線となるような地区幹線道路等のうち、短期間で完成し、大きな事業効果が得られる箇所について重点的に整備を進めます。

(合計53箇所、完成予定4箇所、新規1箇所)

(下線部分は23年度完成予定)

### (1) 交差点改良等によりボトルネック解消につながる路線

- ・ 東京丸子横浜（大倉山交差点） 【新規】
- ・ 阿久和鎌倉（萩丸交差点） など12路線

### (2) 幹線道路とあわせて整備することにより、効果が一層高まる路線

- ・ 上白根第99号線（上白根一丁目地区(その1)）
- ・ 蒔田第480号線（岡村七丁目地区）
- ・ 佐江戸北山田線（山王前地区）
- ・ 中屋敷二丁目地内道路 など28路線

### (3) 駅前広場、駅周辺道路など公共交通機関の利便性向上につながる路線

- ・ 山下長津田線（長津田地区） など7路線

### (4) 交通渋滞の解消につながるバスベイ等を整備する路線

- ・ 片倉六角橋線（神大寺地区） など2路線

### (5) 郊外部の渋滞の激しい交差点を改善するスムーズ交差点プラン

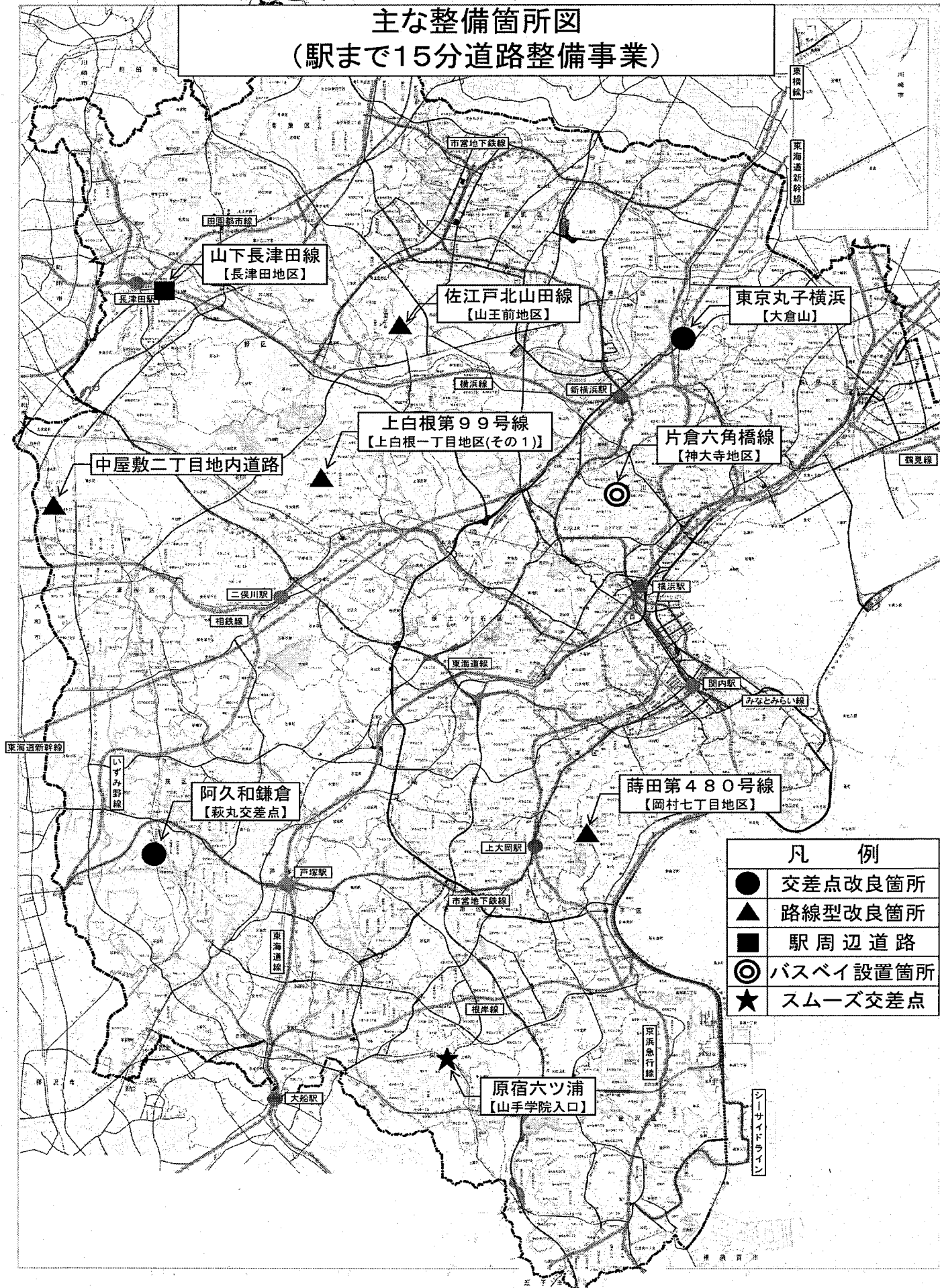
- ・ 原宿六ツ浦（山手学院入口） など4路線

## 2 一般改良事業 135,626 千円 (327,323)

道路の部分的な拡幅や交差点の改良等を行います。

(合計11箇所、完成予定2箇所、新規1箇所)

主な整備箇所図  
(駅まで15分道路整備事業)



凡 例	
●	交差点改良箇所
▲	路線型改良箇所
■	駅周辺道路
◎	バスベイ設置箇所
★	スムーズ交差点

## Ⅱ 道路維持管理

4	道路の維持・管理		
	千円		
23年度	13,329,776		
22年度	13,299,481		
差引増△減	30,295		
23 年 度 の 財 源	国費	158,600	
	県費	25,200	
	使用料	4,807,499	
	諸収入等	330,625	
	市債	33,500	
	一般財源	7,974,352	

歩行者と車両の安全な交通を確保するため、道路の適切な維持管理を引き続き行います。

なお、「道路修繕」については、22年度と同額の予算を確保しました。

### 1 道路修繕 9,485,718 千円 (9,485,718)

舗装のわだち掘れ等、損傷が著しくなっている道路の計画的な修繕工事のほか、生活環境の向上につながる住宅地内の舗装補修や道路側溝の暗きょ化、駅周辺の安全性と利便性を確保する歩道や車道の舗装補修を実施します。

また、引き続き洪水・浸水による道路冠水など、水害に対する予防保全機能の強化に取り組みます。

### 2 すず風舗装の整備 10,000 千円 (0)

ヒートアイランド対策の一つとして、舗装表面の温度上昇を抑制するすず風舗装を実施します。

- ・市道箕輪第34号線（日吉駅普通部通り、  
港北区日吉本町一丁目）（保水性舗装）

### 3 低騒音舗装の整備 70,000 千円 (255,500)

沿道環境の改善のため、低騒音舗装を実施します。

- ・国道1号（保土ヶ谷区西久保町） ほか

4 道路清掃・施設管理 2,798,560 千円  
(2,650,914)

車道等の清掃及び道路照明灯やエレベーター等の保守・管理を行います。

- ・道路、駅前広場等の清掃
- ・道路照明灯管理
- ・エレベーター・エスカレーター管理
- ・ハマロード・サポーター事業  
ハマロード・サポーター 285団体
- ・道路台帳の更新や認定路線の管理等 ほか

5 道路清掃（緊急経済対策・緊急雇用） 25,200 千円  
(25,557)

- ・環状2号線歩道等特別清掃事業

6 街路樹・植樹帯の管理 938,733 千円  
(881,792)

(1) 都市に潤いと憩いを与える街路樹及び植樹帯の植栽を良好に生育させるため、剪定等の維持管理を行います。

- ・街路樹管理 134,000本
- ・植樹帯管理 126.6ha

※ これ以外に、みどり保全創造事業費会計の歳出予算を活用し、街路樹剪定の充実を図ります。

(2) 街路樹の根上がりにより、歩行者の安全な交通の妨げが生じている歩道を樹木の良好な生育を確保しつつ、改善する工事を実施します。

- ・市道大場町第429号線（青葉区荏田西1丁目）ほか

7 高架下等の有効活用 1,565 千円  
(0)

まちづくりや賑わい創出等の観点から、民間のアイデアと活力を取り入れ、高架下等の有効活用を図ります。

## Ⅱ 道路維持管理

5	橋りょう等の維持・補修	
	23年度	千円 3,728,999
	22年度	3,050,442
	差引増△減	678,557
23 年 度 の 財 源	国費	1,110,290
	諸収入等	328,000
	市債	1,111,129
	一般財源	1,179,580

橋りょうの維持・補修及び長寿命化の推進等を行うほか、架替えを行います。

また、阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、地震に強い都市づくりを進めるため、橋りょうの地震対策及びトンネルの補修を引き続き行います。

### 1 橋りょうの長寿命化推進 660,658 千円 (679,209)

橋りょうを計画的かつ効率的に維持管理する「アセットマネジメント」の考え方にに基づき、橋りょうの定期点検や計画的な維持補修・塗装等を行います。

- ・ 塗装塗替 17橋
- ・ 高欄修繕等 44橋      ほか



塗装の塗替（新川向橋・港北区～都筑区）  
※写真左の線路上部は、現在工事中

2 橋りょうの改良 (下線部分は23年度完成予定)

2,857,051 千円  
(2,058,289)

(1) 老朽橋の架替えを行います。

- ・ 花見橋 (南区弘明寺町~大岡二丁目)
- ・ 谷本人道橋 (青葉区下谷本町~市ヶ尾町)
- ・ 江ヶ崎こ線橋 (鶴見区江ヶ崎町)
- ・ 霞橋 (中区新山下一丁目)                      ほか

(2) コンクリート片剥離落下等の事故を未然に防ぐため、こ線橋等の補修を計画的に行います。

- ・ 地蔵人道橋 (神奈川区大口通~神之木町)                      ほか

(3) 老朽橋の応急補修を実施します。

- ・ 鶴見大橋 (鶴見区生麦二丁目~末広町)

3 橋りょうの地震対策

88,624 千円  
(203,704)

緊急輸送路にある橋や、高速道路・鉄道を跨ぐ橋などの重要橋りょうのうち、地震対策が必要な366橋について、橋脚補強や落橋防止装置の設置などの対策を実施しています。平成22年度末までに341橋(93%)の対策が完了する見込みであり、引き続き、残る25橋を対象に地震対策を計画的に行います。

- ・ 鶴蒔橋 (青葉区市ヶ尾町)                      ほか



橋脚を補強し、変位制限装置を施した橋 (将門橋・都筑区)



PC鋼棒で連結し、落橋防止を施した橋 (清水ヶ丘公園東橋・南区)

4 トンネルの補修

122,666 千円  
(109,240)

トンネルのコンクリート片剥離落下を防ぐため、本体の補修等を行います。

- ・ トンネル補修  
    汐見台隧道 (磯子区汐見台) ほか
- ・ トンネル点検調査等

### Ⅲ 地域交通対策

6	地域交通対策	
23年度		千円 735,413
22年度		3,379,489
差引増△減		△ 2,644,076
23 年 度 の 財 源	国費	45,650
	使用料	0
	諸収入等	0
	市債	13,050
	一般財源	676,713

誰もが安心・安全に利用できる交通体系を実現するため、バス等の交通施策の推進、バリアフリー新法に基づく基本構想の検討・策定及びバリアフリー歩行空間の整備等を進めます。

#### 1 横浜市生活交通バス路線の維持支援 609,397 千円 (622,746)

バス路線の廃止による交通不便地域の発生等を回避し、市民の日常生活の利便性を確保するため、必要と認められるバス路線に対し補助金を交付し、路線を維持します。

#### 2 地域交通サポート事業 15,000 千円 (15,000)

地域にふさわしい交通サービスの実現に向けた地域主体の取組に対して、活動経費の助成や専門的な調査を実施するコンサルタントの派遣を行います。



本格運行中の乗合バス  
(戸塚区小雀地区～大船駅)

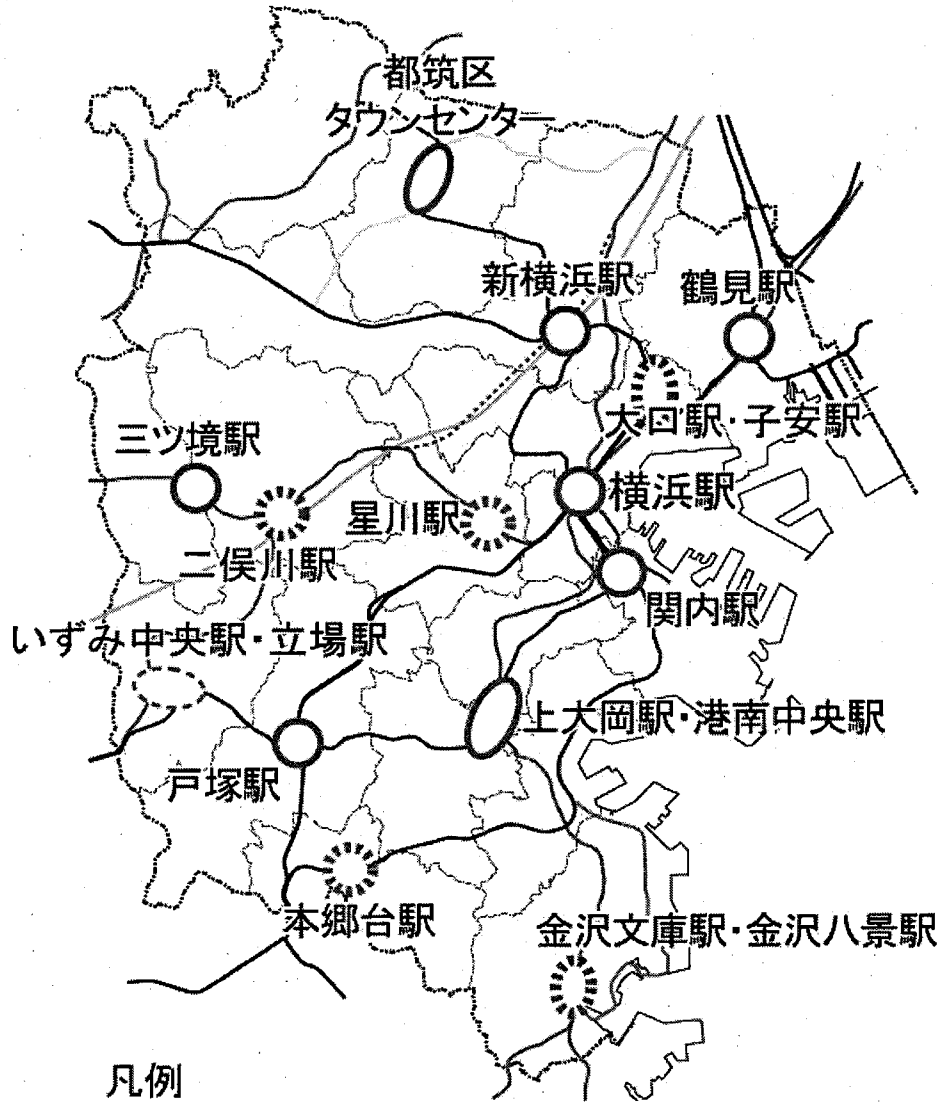
#### 3 まちのバリアフリー化の推進 90,916 千円 (213,243)

駅周辺のバリアフリー化をより推進していくため、バリアフリー新法に基づく基本構想の検討・策定を引き続き行います。




※区局連携事業（金沢区）  
金沢八景駅・金沢文庫駅周辺地区バリアフリー基本構想策定業務を含む

また、バリアフリー歩行空間を整備します。  
・上大岡駅・港南中央駅周辺地区(港南区) ほか

バリアフリー基本構想の策定状況



凡例

	バリアフリー基本構想策定済み(8地区)
	バリアフリー基本構想策定中(5地区)
	バリアフリー基本構想着手予定(1地区)

4 鉄道駅総合改善事業（羽田空港アクセス改善事業）

20,100 千円  
(28,500)

羽田空港へのアクセスを改善し、市民の利便性向上を図ることを目的に、京急蒲田駅の鉄道駅総合改善事業により、横浜方面からの直通線を整備します。

# IV 交通安全対策

7	交通安全対策	
23年度		千円 3,531,693
22年度		3,166,523
差引増△減		365,170
23 年 度 の 財 源	国費	1,278,400
	使用料	43,592
	諸収入等	260,010
	市債	836,714
	一般財源	1,112,977

歩行者の安全と円滑な道路交通を確保するため、交通安全施設や安全で快適に移動できる歩行空間を整備します。

また、交通事故防止に向け、交通安全運動や交通安全教育を実施します。

## 1 交通安全施設の整備等 2,429,266 千円 (2,492,771)

- (1) 歩道、防護柵、案内標識、道路照明灯、安全灯、視覚障害者誘導用ブロック等の施設を整備します。
- (2) 交通事故の多発している地点について、交差点改良等を行うとともに、小学校の通学路等において、あんしんカラーベルト事業を進めます。
- (3) 災害時の安全性の確保や機能的な道路空間と都市景観の向上のため、電線共同溝の整備を進めます。

・環状2号線（鶴見区梶山二丁目～上末吉五丁目）

ほか

- (4) 歩行者の安全性や利便性の向上を図るため、踏切の拡幅やカラー舗装等を実施します。

- (5) 自転車道を整備します。

・新羽荏田線（都筑区荏田東） ほか

## 2 交通安全施設の補修 1,055,363 千円 (616,580)

- (1) 防護柵、案内標識、道路照明灯、歩道橋等の施設の補修を行います。
- (2) 歩道橋について、歩道橋長期保全計画に基づき、長寿命化推進事業を進めます。

## 3 交通安全運動の推進等 47,064 千円 (57,172)

- (1) 交通安全運動や広報・啓発活動について、自転車マナーのリーフレットを作成、配付するなど、年間を通じて実施します。
- (2) 幼児・児童や高齢者に対して、年齢や世代に応じた交通安全教育を行います。

・幼稚園・保育園160園、小学校150校等で開催

## IV 交通安全対策

8	放置自転車対策		<p>駅周辺の歩行者の通行、安全確保のため、引き続き自転車等放置防止対策を進めるとともに、自転車駐車場の管理運営及び整備を行います。</p>
	千円		
	23年度	2,528,230	
	22年度	2,739,526	
	差引増△減	△ 211,296	
23年度の財源	国費	64,900	
	県費	180,008	
	使用料	2,054,041	
	諸収入等	92,181	
	市債	125,100	
	一般財源	12,000	
			<p><b>1 自転車等放置防止</b> <span style="float: right;">1,916,222 千円 (2,128,004)</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車等放置防止対策</li> <li>・ 市営自転車駐車場の運営</li> <li>・ 民営施設の整備補助</li> </ul> <p><b>2 自転車等放置防止（緊急経済対策・緊急雇用）</b> <span style="float: right;">180,008 千円 (157,154)</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車等放置防止監視員の配置等</li> </ul> <p><b>3 自転車駐車場の整備・補修</b> <span style="float: right;">432,000 千円 (454,368)</span></p> <p>市営自転車駐車場の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青葉台駅（青葉区青葉台一丁目）</li> <li>・ 鶴見駅西口（鶴見区豊岡町）</li> </ul> <p style="text-align: right;">など5箇所が完成 H23供用開始予定 1,555台</p>
9	自動車駐車場事業 (自動車駐車場事業費会計)		
	千円		
	23年度	1,240,344	
	22年度	1,272,908	
	差引増△減	△ 32,564	
23年度の財源	国費	12,100	
	使用料	372,562	
	諸収入等	3,101	
	一般会計		
	繰入金	852,581	
			<p>安全で円滑な道路交通の確保のため、路上駐車対策として、6箇所の市営地下駐車場の管理運営を行います。</p> <p><b>1 自動車駐車場管理運営</b> <span style="float: right;">387,763 千円 (419,604)</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福富町西公園地下駐車場 <span style="float: right;">184 台</span></li> <li>・ ポートサイド地下駐車場 <span style="float: right;">200 台</span></li> <li>・ 馬車道地下駐車場 <span style="float: right;">225 台</span></li> <li>・ 山下町地下駐車場 <span style="float: right;">219 台</span></li> <li>・ 日本大通り地下駐車場 <span style="float: right;">200 台</span></li> <li>・ 伊勢佐木長者町地下駐車場 <span style="float: right;">200 台</span></li> </ul> <p><b>2 公債費</b> <span style="float: right;">852,581 千円 (853,304)</span></p>

# V 河川整備

10	河川等の整備	
		千円
	23年度	4,180,500
	22年度	4,400,237
	差引増△減	△ 219,737
23 年 度 の 財 源	国費	1,211,667
	県費	980,667
	諸収入等	0
	市債	1,361,000
	一般財源	627,166

(下線部分は23年度完成予定)

台風や集中豪雨から市民の生命・財産や都市機能を守るため、河川整備を進めます。

## 1 河川の改修 3,903,500 千円 (4,092,337)

時間降雨量約50mmの雨に対応できるように、護岸の改修、河川遊水地の整備を推進します。

### (1) 都市基盤河川改修事業

- ・和泉川 和泉三家橋の新設(泉区和泉町)等
- ・舞岡川 舞岡川遊水地の整備(戸塚区舞岡町)等
- ・今井川 J R岩間川橋りょう工事  
(保土ヶ谷区岩井町)等
- ・帷子川 用地取得(旭区上川井町)等
- ・中堀川 用地取得(旭区白根二丁目)等
- ・阿久和川 河床掘削(瀬谷区阿久和南三丁目)
- ・いたち川 神戸橋の架替え(栄区上郷町)等
- ・名瀬川 用地取得(戸塚区名瀬町)等
- ・その他 平戸永谷川(戸塚区名瀬町)や  
宇田川(戸塚区深谷町)の河床整備等

### (2) 準用河川改修事業

- ・奈良川 (仮称)新奈良橋の新設(青葉区奈良町)等
- ・日野川 護岸整備(港南区日野七丁目)等
- ・準用舞岡川 護岸整備(戸塚区舞岡町)等

## 2 流域貯留施設の整備 171,000 千円 (246,000)

流域全体での総合的な浸水対策を進めるため、河川への雨水流出を抑制する貯留施設を整備します。

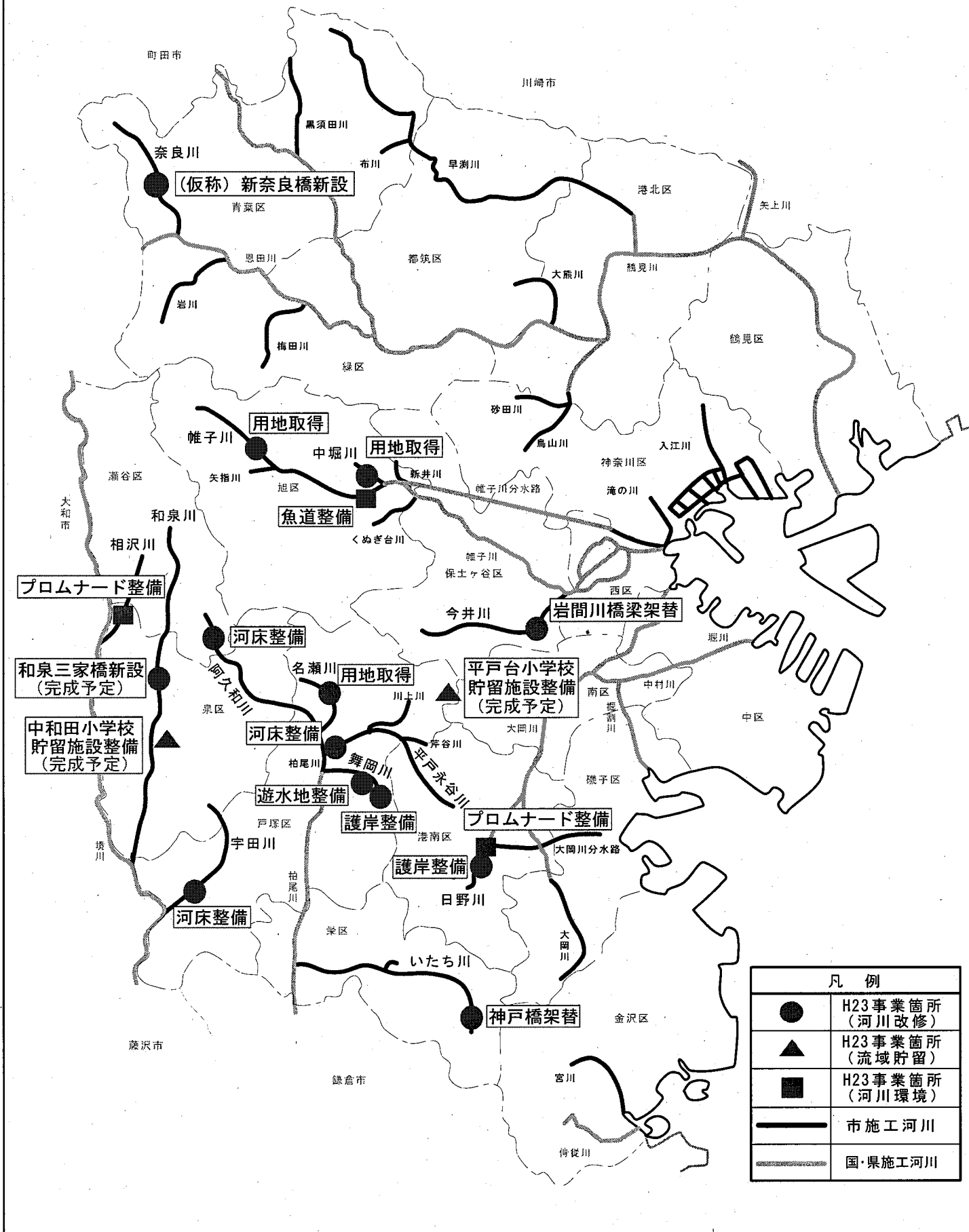
- ・中和田小学校 貯留施設の整備(泉区和泉町)
- ・平戸台小学校 貯留施設の整備(戸塚区平戸町)

## 3 河川環境の整備 106,000 千円 (61,900)

快適な水環境の保全と創造を目指し、市民の憩いと潤いの場となるプロムナードや生物生息環境に配慮した魚道等を整備します。

- ・日野川 プロムナード整備(港南区日野七丁目)
- ・相沢川 プロムナード整備(瀬谷区下瀬谷一丁目)
- ・その他 帷子川(旭区鶴ヶ峰二丁目)の魚道整備等

主な整備箇所図(河川整備)



## Ⅵ 河川維持管理

11	河川等の維持・管理	
		千円
	23年度	926,413
	22年度	984,463
	差引増△減	△ 58,050
23 年 度 の 財 源	国費	5,500
	使用料	124,949
	諸収入等	50
	市債	0
	一般財源	795,914

河川及び水路の維持管理を行うほか、水辺愛護会活動を積極的に支援し、身近な水辺を良好に保つとともに河川愛護意識の醸成を図ります。

また、水防災情報システムによる水位情報の提供など、浸水被害を軽減するための取組を進めます。

### 1 河川・水路等の維持管理事業 830,155 千円 (861,310)

河川や雨水調整池等の治水施設の流水・貯留機能を確保するため、効率的にしゅんせつや除草等を実施します。

また、老朽化した護岸や水路・ポンプ排水型遊水地等の管理施設の補修等により、安全で安心できる施設管理を行います。

あわせて、一層の効率的な維持管理に向けて、計画的修繕により、施設の長寿命化に取り組みます。

#### [横浜市が維持・管理する河川等]

- ・一級河川（権限委譲河川） 3河川 5,980m
- ・二級河川（権限委譲河川） 1河川 4,920m
- ・二級河川（都市基盤河川※） 11河川 43,205m
- ・準用河川 25河川 31,768m
- ・水路 約2,100km
- ・河川遊水地 8箇所

※ 二級河川のうち、都市基盤河川改修事業を実施する河川は、横浜市で維持・修繕を行っています。

#### [その他管理施設]

- ・雨水調整池 216箇所
- ・流域貯留浸透施設 81箇所

2 水政事業

24,545 千円  
(21,443)

水質事故の処理、水路改廃に伴う境界確定などの管理を行います。

また、地域の水辺環境を良好に維持することを目的とした水辺愛護会活動への支援など、市民との協働による美化活動等を進め、河川愛護意識の醸成を図ります。

- ・水辺愛護会 92団体

3 水防事業

71,713 千円  
(101,710)

河川・水路からの洪水等による浸水被害を軽減するため、水防災情報システムにより水位や画像等の情報をホームページや電子メールで配信するとともに、水防資機材の備蓄・整備を行います。

- ・親水拠点警報装置 18箇所
- ・水防災情報システム 27河川 59箇所  
(国・県を含む)



親水拠点警報装置  
(和泉川 東山の水辺、瀬谷区)

## Ⅶ その他

12	その他事業	
		千円
	23年度	9,240,054
	22年度	9,473,729
	差引増△減	△ 233,675
23 年 度 の 財 源	国費	0
	使用料	0
	諸収入等	36,092
	市債	0
	一般財源	9,203,962

<b>1</b>	<b>私道対策事業</b>	162,291 千円 (196,219)
	・ 私道整備助成【助成率9/10】、私道整備【全額市費】	95,000 千円 (100,000)
	・ 公道移管測量費助成	67,291 千円 (96,219)
<b>2</b>	<b>職員人件費</b>	7,122,919 千円 (7,208,798)
<b>3</b>	<b>特別会計繰出金（自動車事業費会計繰出金除く）</b>	1,812,736 千円 (1,958,445)
	・ 駐車場事業費会計繰出金	852,581 千円 (853,304)
	・ 公共事業用地費会計繰出金	960,155 千円 (1,105,141)
<b>4</b>	<b>その他の事業</b>	142,108 千円 (110,267)

総務管理費、技術監理費等



OPEN  
YOKOHAMA